

# 令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮南小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて  
(3月)

年度末評価  
(2月)

反映

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p>【学習上の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前学年までの漢字の習得、主語と述語の関係についての理解がよくできていない。また、社会、理科でも、前学年までの内容を忘れてしまっている児童が多い。</li> </ul> <p>【指導上の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人差を埋めるための指導が不十分である。</li> <li>・反復、習熟に取り組む時間の設定が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学習のスキルアップタイム、国語タイムを有効に活用し、基礎基本の定着を図る。ドリルパーク、スタディサプリ等を活用し、反復・習熟に取り組む。【単元ごとに1回(10分)以上の実施】</li> <li>・学びを振り返り、自分の課題を克服する時間を設定する。【単元の最後に実施】</li> </ul>
思考・判断・表現	<p>【学習上の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語「自分の考えを話すこと」「話し方を理解すること」「他人の考えと比較しながら聞き、自分の考えをもつこと」等、話すことについての定着が低い。</li> </ul> <p>【指導上の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の中で、決まった児童だけでなく、全ての児童が自己表現できる場を設定していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの活用について肯定的に捉えている児童が多いことから、各教科において、ICTを効果的に活用し、考えを共有したり、深め合ったりする機会を意図的に設定する。「協働的な学びの場の設定」【R6年度さいたま市学習状況調査】授業で学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていくと思いませんか。の質問項目において、肯定的な回答の割合が95%以上】</li> </ul>

全国学力・学習状況調査  
<小6・中3>(4月~5月)

⑤	評価(※)	調査結果	授業改善策の達成状況
知識・技能		<ol style="list-style-type: none"> <li>①結果分析(管理職・学年主任等)</li> <li>②詳細分析(学年・教科担当)</li> <li>③分析共有(児童生徒の実態把握)</li> </ol> <p>職員会議・校内研修等</p>	
思考・判断・表現			

結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	<p>国語、算数共に全国平均値を上回り、概ねよくできている。また、ICT機器の活用における調査では、「自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」「分からないことがあった時にすぐに調べることができる」と応える児童が90%を超えている。子ども主体の学びとなるような授業を今後も継続していく。</p>
思考・判断・表現	<p>国語、算数共に全国平均を上回り、概ねよくできている。国語においては、「事実と感想、意見とを区別して書く」こと、算数においては、「数学的な言葉や数を用いて、理由を説明すること」についてさらに高めることができるように、協働的な学びの機会を適宜確保しながら「なぜそうなるのか?」を考えたり、説明したりする活動を重視したい。</p>

①結果分析(管理職・学年主任等)  
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学習のスキルアップタイム、国語タイムを活用し、ドリルパーク、スタディサプリ等で反復・習熟に取り組んだ。また、夏休みには、1学期の復習に取り組んだ。</li> <li>・単元を振り返り、課題を克服する時間を設定できた。</li> </ul>	変更なし
思考・判断・表現	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した授業実践を十分に行っているが、ICT活用にとばかり、日頃から、ペアやグループで考えを共有したり、深め合ったりする機会を設定したい。全体の前で答えたり、分かりやすく説明したりすることに抵抗を感じる児童もいることから、抵抗なく隣同士で答えを確認したり、思考を伝え合ったりする機会を普段から取り入れていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い時間で話し合う活動を取り入れ、互いの考えを共有したり、深め合ったりする機会を多く設定する。「協働的な学びの場の設定」【R6年度さいたま市学習状況調査】授業で学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていくと思いませんか。の質問項目において、肯定的な回答の割合が95%以上】</li> </ul>

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)